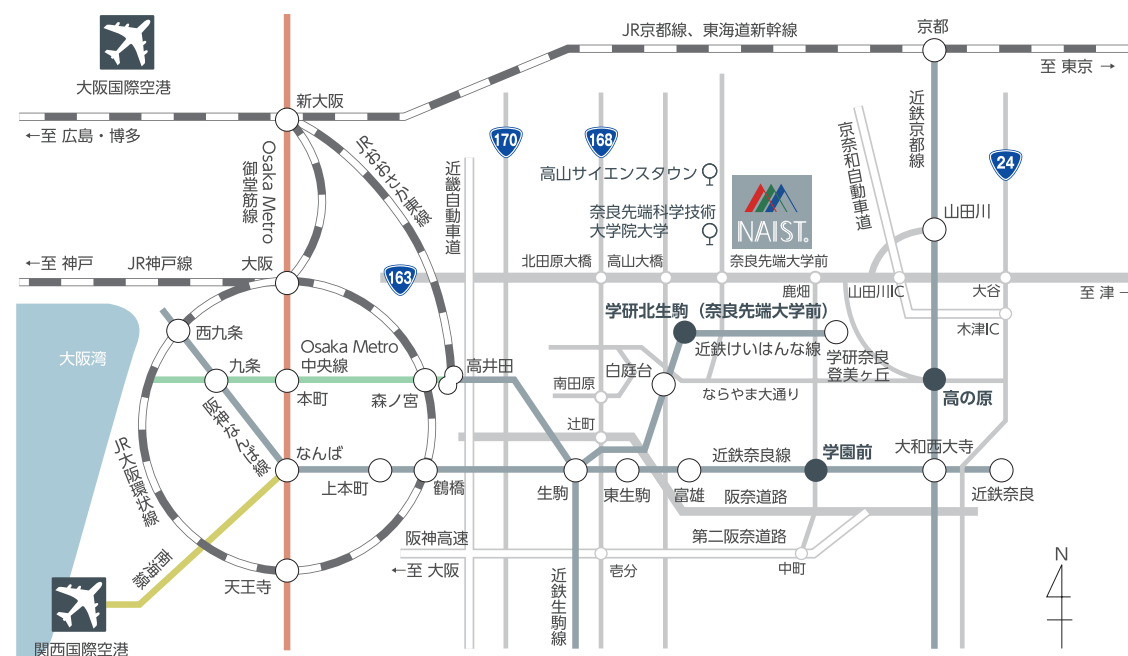


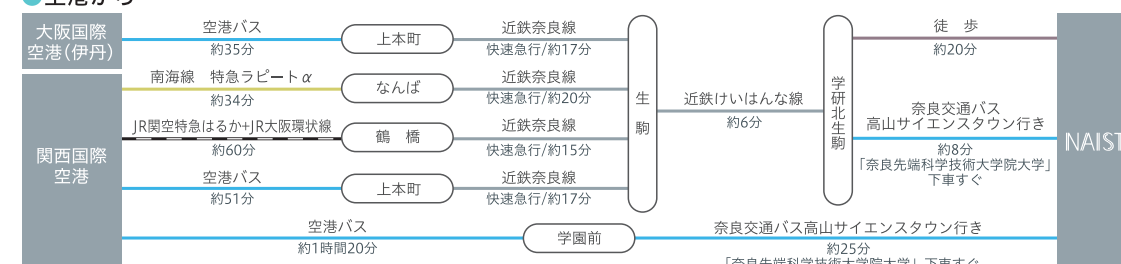
アクセス

詳細は本学ホームページ (<https://www.naist.jp>) をご覧ください。

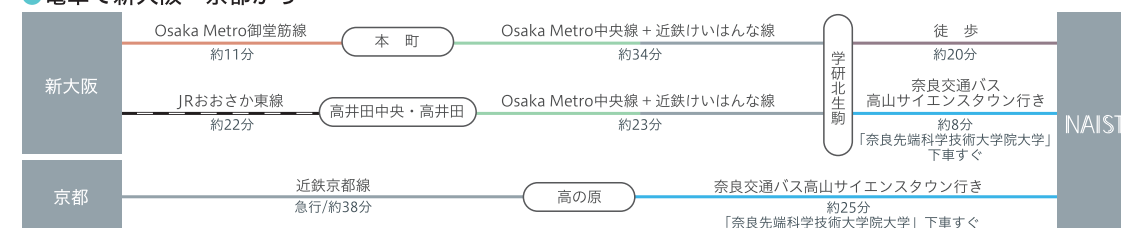
Access



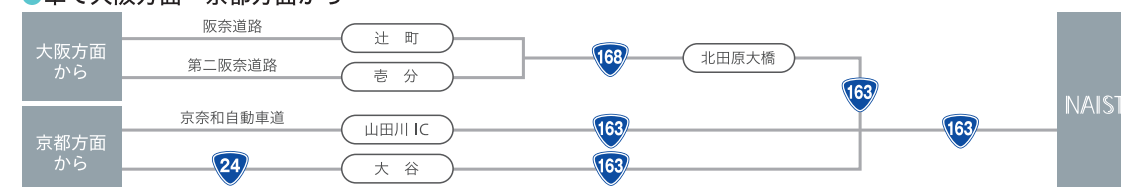
● 空港から



● 電車で新大阪・京都から



● 車で大阪方面・京都方面から



国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

教育支援課入試係

〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916-5
TEL:0743-72-5083 / FAX:0743-72-5014 / E-mail:exam@ad.naist.jp

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



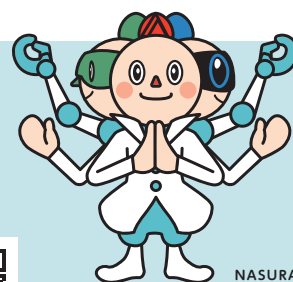
web website
<https://www.naist.jp>



twitter
https://twitter.com/NAIST_MAIN



facebook
<https://www.facebook.com/naist.jp>



NASURA
大学マスコットキャラクター



国立大学法人
奈良先端科学技術大学院大学

高等専門学校生向けガイド

NAIST



NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY GUIDE BOOK

将来の進路に「NAIST」



という選択肢があります。

先端科学技術研究科

SCIENCE and TECHNOLOGY

情報科学

Information
Science

バイオサイエンス

Biological
Science

物質創成科学

Materials
Science

「NAIST」
の魅力



様々なバックグラウンドを持つ意欲ある国内外の学生が在籍

NAISTには高専、大学、外国など様々なバックグラウンドを持つ学生がいます。

学部を持たない大学院大学のため、**スタートラインは皆一緒です。**

出身の異なる学生と切磋琢磨する環境で研究生生活を送りませんか？



トップクラスの研究力

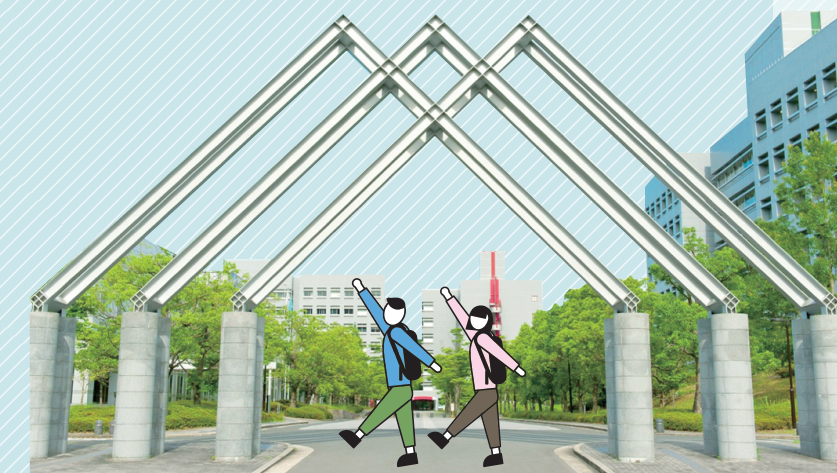
国立大学法人の「第2期中期目標期間（2010～2015年度）に係る業務の実績に関する評価」において、すべての項目で「良好」以上の評価（5段階評価のうち上位2区分に位置）となっています。

特に研究目標の達成状況は国立大学中で最良評価である「非常に優れている」（国立大学86大学の上位5大学（上位6%）に位置）という高い評価を得ています。



最新の研究設備

最新の研究設備が充実し、学生にも広々としたスペースが提供され、心行くまで研究や勉強に打ち込める理想的な環境が整っています。



きめ細やかな教育研究指導

教員一人当たりの学生数（2019年度）は5.2人であり、国立大学法人平均の9.9人に比べて半数程度となっています。これは本学においてよりきめ細やかな教育研究指導環境が整っていることを示しており、大学院から他分野に挑戦する学生に対しても十分な指導が可能であることを示しています。

また、学内進学（博士後期課程）を希望する学生には5年一貫コースという選択肢もあります。

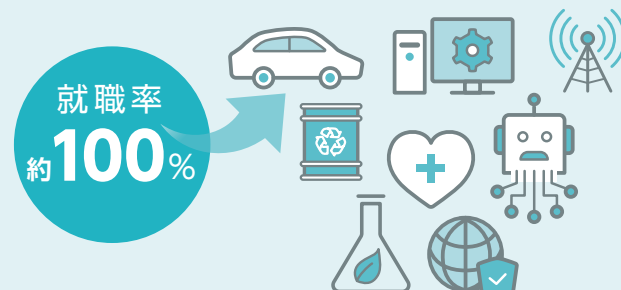
詳しくはHPを
確認ください。→



充実した就職支援体制

キャリア支援室を通じた就職情報の提供やひとりひとりに応じたきめ細やかなアドバイスを行っています。就職希望者の就職率はほぼ100%です。

修了生は総合電機メーカー、IT系、自動車メーカー、通信・電力インフラ系、精密機械系、コンサルタント系、食品、化学、製薬、医療機器など多方面の分野で活躍しています。



充実した経済的支援

入学金・授業料の納付が困難な学生に対して、入学金・授業料の全額又は一部を免除、若しくは、入学金の徴収を猶予する制度があります。

また、優秀な学生には、ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチアシスタント（RA）雇用を通じた経済支援を行っています。



充実した生活支援

619室の学生宿舎を用意しています。

学生宿舎に入居することが、十分な研究時間の確保と経済的な負担の軽減の一助となっています。

2021年4月入居開始予定で日本人学生・外国人留学生のシェアタイプ学生宿舎を新設^(※)します。

※90室増加し、709室となります。



「NAIST」をもっと知りたい！

色んなイベントをご用意しています。

01 インターンシップに参加してみる。

インターンシップを通じて、最新の研究設備を使用でき、本学の先輩や先生と直接意見交換をすることができる貴重な機会となっています。
(詳しくは各領域のHPを確認してください↓)

情報科学領域

スプリングセミナー、サマーセミナー
<http://isw3.naist.jp/home-ja.html>



バイオサイエンス領域

長期インターンシップ、バイオ塾
<https://bsw3.naist.jp/index.html>



物質創成科学領域

夏季インターンシップ
<https://mswebs.naist.jp/>



参加者の声

- 非常に良い経験、体験でした。
- 実習が思っていたより難しく、とても楽しかったです。
- 実際に研究を進めている方と一緒に手を動かすことにより、研究テーマのことをより鮮明に理解することができた。
- 有意義でした。
- 理解できるように丁寧に説明してくれた。
- 期待以上だった。
- 研究生活について具体的に知れて良かった。
- 先輩、先生方がとても優しく、フレンドリーに色々教えてくれて、行って良かったと思った。



02 学生募集説明会に参加してみる。

毎年度4-5月、8-9月、1-2月頃に開催しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全て遠隔によるオンライン形式で実施しました。オンライン学生募集説明会は、自宅等にしながら気軽に各領域や入試についての説明を聞くことができ、チャット機能での質問にはリアルタイムに回答が得られます。
(詳しくはHPを確認してください→)

<https://www.naist.jp/admission/exam/recruitment.html>



03 受験生のためのオープンキャンパスに参加してみる。

毎年度5月、2月に開催しています。2020年5月は新型コロナウイルス感染症の影響により「受験生のためのバーチャルオープンキャンパス」を開催し、VR技術を活用した学内バーチャルツアーや360度カメラによる学内施設紹介、ウェブ会議システムを用いた個別入試相談、オンライン雑談室などを実施しました。
(詳しくはHPを確認してください→)

https://www.naist.jp/opencampus_ps/index.html



04 いつでも見学会に申し込んでみる。

本学への受験を考えている方、興味のある方向けに個別の研究室訪問をいつでも受け付けています。学生募集説明会、オープンキャンパスなどに参加できなかった方をはじめ、もっと詳しく研究内容について知りたい方は、ぜひお申し込みください。教員が研究室紹介、入試相談など、皆様の疑問にお答えします。
(詳しくはHPを確認してください→)

<https://www.naist.jp/admission/exam/campustour.html>



「NAIST」に入りたい！

入学者選抜試験について

高等専門学校推薦選抜試験

出願資格

- 高等専門学校専攻科に在籍し、2022年3月31日までに大学改革支援・学位授与機構又は学校教育法第83条第1項に定める大学から学士の学位を授与される見込みの者
- 在籍中の学業成績及び人物がともに優秀である者
- 合格した場合に入学を確約できる者
- 適性審査の結果、出願を許可された者

以上の4つを全て満たしている必要があります。

2022年春学期(4月)入学

1 適性審査書類提出 4月12日(月)～16日(金)：消印有効

適性審査書類に学校長／専攻科長の推薦書が必須

2 適性審査 於：本学 情報：4月19日(月)～5月13日(木)の間
バイオ・物質：5月13日(木)
(※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更となる可能性があります。)

3 出願許可通知

4 出願 6月7日(月)～9日(水)：消印有効

5 選抜(書類審査)

選抜時は本学への来学は不要

6 合格発表 7月19日(月)

7 入学確約書の提出

博士前期課程入学者選抜試験

出願資格

高専生だけでなく、4年制大学の学生も含め、学士の学位を取得及び取得見込みの学生が受験できます。

2022年春学期(4月)入学

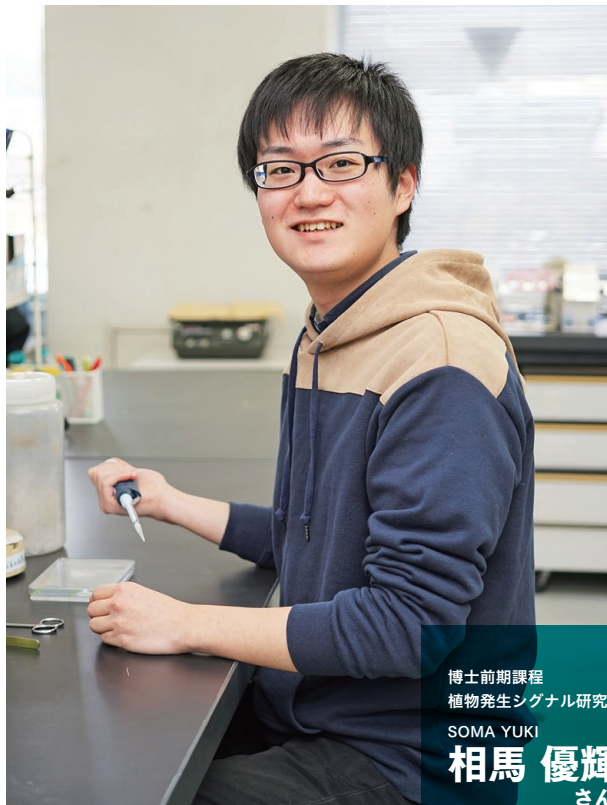
試験回	出願期間	場所	選抜期間
第1回選抜試験	2021年 6月7日(月)～9日(水)	東京	2021年 7月5日(月)
		本学	2021年 7月7日(水)～10日(土)
第2回選抜試験	2021年 9月13日(月)～15日(水)	本学	2021年 10月12日(火)～14日(木)
第3回選抜試験	2022年 2月7日(月)～9日(水)	本学	2022年 3月9日(水)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更となる可能性があります。

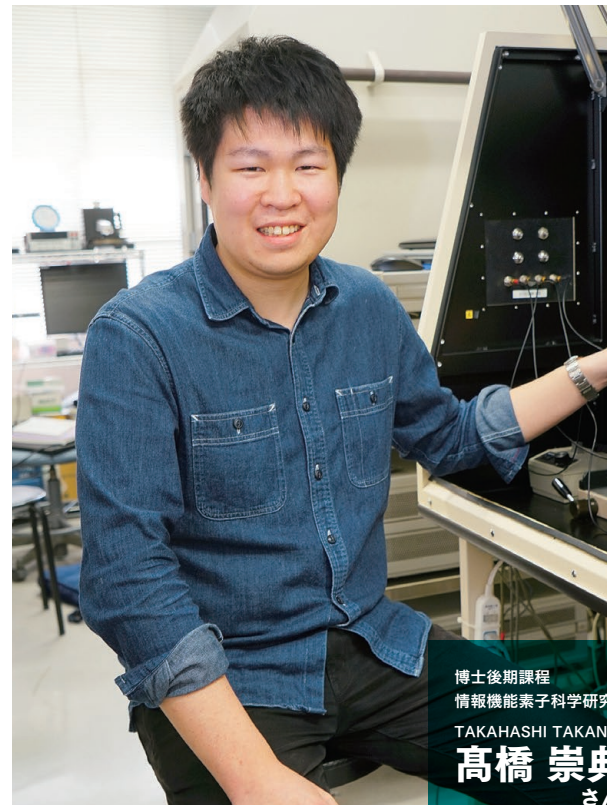
高専出身者 インタビュー



博士後期課程
ソフトウェア工学研究室
IKUTANI YOSHIHARU
幾谷 吉晴さん
奈良工業高等専門学校出身



博士前期課程
植物発生シグナル研究室
SOMA YUKI
相馬 優輝さん
群馬工業高等専門学校出身



博士後期課程
情報機能素子科学研究室
TAKAHASHI TAKANORI
高橋 崇典さん
鶴岡工業高等専門学校出身

自分で選んだ研究テーマなので「たいへん」も楽しんでいます。

NAISTを選んだ理由は？

私が取り組んできた研究を最もスムーズに発展させられると感じたことが大きな理由です。また、高専時代の恩師が奈良先端大の出身で、色々な話を聞くことができました。オープンキャンパスに参加した際に、私の研究領域に近い先輩と話ができたこともうれしかったです。

NAISTに入学して良かったことは？

教授や准教授との距離感が近いことです。学生の声をできるだけ反映して学内の仕組みを改善しようとする姿勢が伝わってきます。研究は「簡単にはうまくいかない」を前提に取り組むことが多いので、実験も論文執筆もたいへんです。しかし、自分で決めた好きなテーマなので、そういった途中経過も楽しんでいます。

また、高専出身者としては、大学院で高専以外から進学してきた研究仲間と切磋琢磨することはとても有益だと感じています。

将来の夢、目標をお聞かせください。

中期的には、世界の一流雑誌に自分の論文を掲載すること。長期的には、人間がなぜプログラムを理解できるのかを脳活動の観点から理論化することを目標にしています。

研究テーマや実験方法は自己決定。自由度の高い研究に取り組めます。

NAISTを選んだ理由は？

やりたいと思っていた植物の研究が盛んな奈良先端大を選びました。群馬高専で奈良先端大の先生と学生が説明会を開いてくださり、参考になりました。入学後に研究室を決めることができ、各研究室をじっくり見学したり、教員と話し合ったりして自分に合った研究室を見つけられる点も理由のひとつです。

NAISTに入学して良かったことは？

研究の自由度が高いことです。研究対象の植物についての知識が最初にはなかったので、専門書や論文を読むのはたいへんでしたが、研究テーマを決めるときは、指導教員と話し合い、自分が研究したいテーマを設定しました。実験の手法やアプローチの仕方も教員からの指示ではなく自分で決められるので、研究にやりがいを感じます。一方で、どうすればわからないときや実験につまずいたときは、教員が親身に相談に乗ってくれます。

将来の夢、目標をお聞かせください。

現在明らかになっていない植物の成長メカニズムについて解明することが研究目標です。私は高専進学時には、大学院まで進みたいと考えていました。大学院選びで悩むこともあると思いますが、研究や将来のためにとても大事なことで頑張ってください。

研究を発展させるための選択。自由な発想でチャレンジできます。

NAISTを選んだ理由は？

高専在学時に研究の一部を奈良先端大と共同で行っていたこともあり、取り組んでいた酸化半導体を用いた薄膜トランジスタの研究を発展させたくて選びました。また、2週間のインターンシップにも参加しました。研究設備が充実していることに感動し、研究室の先輩方も丁寧に指導してくださいました。

NAISTに入学して良かったことは？

研究環境が非常に恵まれており、半導体の物性評価、デバイスの作製・評価、シミュレーションなどが可能です。さらに、様々なバックグラウンドを持つ学生との交流がよい刺激になりますし、指導教員の強力なサポートを受けながら自由な発想で研究を展開、発展させることができます。

研究では、困難な課題を自分のアイデアで解決したときにやりがいを感じます。小さな疑問や興味の対象について、仮説を立てて実験することも知的好奇心を満たしてくれます。

将来の夢、目標をお聞かせください。

世界初の半導体デバイスを自分の手で創り出したいです。こうした目標が持てるのも、高専在学時に自分の頭で考え、自分の手を動かして得た知識がかけがえのない財産になっているからです。高専生には何事にもチャレンジしてほしいですし、これからは私はそうしていくつもりです。

社会で活躍する
高専・奈良先端大卒業生



情報科学領域
ユビキタスコンピューティングシステム研究室 助教
MATSUDA YUKI
松田 裕貴さん
明石工業高等専門学校 専攻科 機械・電気システム工学専攻修了
奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 博士前期課程修了
情報科学研究科 博士後期課程修了

アグレッシブな挑戦を受け入れる
土壤がある

高専から大学院進学を考えている皆さんは、これまで「大学」に関わったことがなく、どこを選べばいいのか悩んでいるところだと思います。

大学院を選ぶ上で最も大きな基準となるのは、やりたい「コト」ができるかどうかでしょう。

まず、NAISTでは各研究領域における世界トップレベルの教授陣が研究室を主宰しており、研究活動が非常に活発です。

さらに、NAISTは学ぶだけでなく自ら開拓することに対するサポートも手厚く、学生主導の学内研究プロジェクト予算（CICP）や研究留学・語学留学に挑戦できるチャンスがあります。

起業家育成プログラム（GEIOT）も受講可能で、実際に起業する学生も出てきています。また、学内にとどまらず、学外の研究資金（末踏や日本学術振興会特別研究員など）を獲得する学生も多数います。私はNAIST在学期間中、とにかくできることは全部やろうと考え、上記のほぼ全てに挑戦しました。そうした「やんちゃ」な挑戦を受け入れる土壤がNAISTにはあります（事務の方にはご面倒をおかけしたかもしれませんが…）。そんな、アグレッシブな挑戦がしたい高専生諸君！ぜひNAISTへ。